

I 開催の趣旨

2019年は、三陸鉄道が久慈から盛までつながるほか、東日本大震災津波伝承館の開館、ラグビーワールドカップ2019™の釜石市開催など、三陸地域が国内外から大きな注目を集めるチャンス年です。

この2019年上期に、広域的・総合的な防災復興行事である「三陸防災復興プロジェクト2019」を開催することにより、復興に力強く取り組んでいる地域の姿を発信し、東日本大震災津波の風化を防ぐとともに、国内外からの復興への支援に対する感謝を示し、さらには、被災県として東日本大震災津波の記憶と教訓を伝え、国内外の防災力向上にも貢献すること、また、三陸地域の多様な魅力の国内外への発信と交流の活発化により、新しい三陸の創造につなげていこうとするものです。

II 目指す姿

- ① 東日本大震災津波の記憶と記録の発信による震災の風化防止と、防災に対する知識と経験の共有による国内外の防災力向上への貢献。
- ② 三陸防災復興プロジェクト2019を機に「再び訪れたい」「再び味わいたい」三陸が形成され、交流人口の拡大と地域経済の活性化が図られる。

復興の取組、防災に関する知識と経験の発信

三陸の魅力を伝える 多彩な事業の実施

- 震災の風化防止
- 国内外の防災力向上への貢献
- 復興の今に対する関心や支援気運の高まり
- 「再び訪れたい」「再び味わいたい」三陸の形成

III 事業展開の基本コンセプト

三陸がつながる。日本各地や世界とつながる。ひとつになって 更に前に進む。

※復旧や復興の取組を通して培われてきた、人と人、地域と地域のつながりや絆を財産としながら、持続的に復興や地域課題の解決に取り組んでいくとともに、様々なつながりを更に発展させていくことを基本コンセプトとする。

目指す姿を実現するための5つのテーマ	防災の啓発と伝承	No2 三陸防災復興シンポジウム2019 No13 三陸防災復興展示会 No21 いわて三陸学びの旅
	復興の現状の発信と支援への感謝	No1 三陸防災復興プロジェクト2019 オープニングセレモニー No3 オールいわて・祭りイベント No5 三陸防災復興プロジェクト2019 クロージングセレモニー No6 LINK SANRIKU 情報ステーション No10 ホタテモザイクアート「ありがとう貝画」
	つながり・関係の強化	No4 さんりく音楽祭2019 No14 さんりく文化芸術祭2019 No17 さんりく絆スポーツフェスタ No18 三陸応援団 元気お届けキャラバン
	地域力の強化	No7 いわてHAMA-MESHIプロジェクト No9 「美味えがすと三陸ーGastronomy SANRIKU-構想」 No11 三陸ジオパーク ワクワクフェスタ No12 三陸ジオパーク フォトリゲイニングフェスティバル No20 三陸お土産プロモーション大作戦
	新たな交通ネットワークの活用	No8 三陸ステーションガーデンプロジェクト No15 三陸プレミアムランチ列車 No16 三陸鉄道一貫運行記念「三陸縦断夜行列車」 No19 “復興の今”学習列車 No22 いわて三陸ドライブツーリズム

期待される効果

- 東日本大震災の事実の発信による風化防止
- 復興の今に対する関心や支援機運の高まり
- 支援に対する感謝の気持ちの発信
- 国内外の防災意識の向上
- 次代を担う若者への防災意識の継承

- 復興支援で生まれたつながりの更なる強化
- 地域コミュニティの形成支援
- 次代を担う若者の参画による地域振興の取組の継承

- 三陸ならではの食や観光情報の発信を通じた認知度の向上による三陸地域への誘客の促進
- 三陸ジオパーク、三陸鉄道などの魅力を伝える新たな観光コンテンツの創出や、三陸自動車道などの新たな交通ネットワークを活用した周遊旅行商品の造成等による集客力の向上
- 三陸の食材を使用した新たなメニュー開発・提供による三陸の食の魅力向上

広報の展開	機運醸成、参加意欲の向上、誘客促進につながる情報発信（HP、SNS、広報誌、テレビ、ラジオ、新聞、交通広告、各種イベント出展等）
交通輸送・宿泊・警備安全対策	適切な交通アクセス・宿泊情報の提供 会期中の交通利便性を高める取組の実現 適切な警備安全対策の実施

- 復興の現状の発信による、三陸の今に対する関心の高まり
- 個別事業情報の発信と関連付けた三陸の魅力発信による、観光地としての集客力の向上

- 事業実施を契機としたおもてなし体制の充実

今後の展開方向

（県次期総合計画での展開の方向性）

復興推進プランや三陸ゾーンプロジェクトなど、県の次期総合計画での政策につなげていく。

I 復興推進プラン

(1) 未来のための伝承・発信

- ・教訓を確実に伝承していくため、教訓を取りまとめ提言として発信
- ・震災学習列車等の体験学習などによる復興教育の推進

II 三陸防災復興ゾーンプロジェクト

(1) 「防災」で世界とつながる三陸

東日本大震災津波の教訓や復興の姿の発信、復興ツーリズムの推進などによる、世界の防災力向上への貢献

(2) 多様な交通ネットワークで国内外とつながる三陸

三陸鉄道、復興道路やフェリー航路などの交通ネットワークを生かした国内外の誘客促進、交流の拡大

(3) ジオパークで世界とつながる三陸

世界ジオパーク認定を見据えた、ジオパーク活動の推進

(4) 世界に誇れる食やスポーツでつながる三陸

- ・食材や食文化を活用したフードツーリズムの推進など、世界に誇れる食の町の形成に向けた取組の推進
- ・自然環境を活用したスポーツアクティビティの創出支援や、スポーツツーリズムの推進による交流の活性化

III 文化・スポーツレガシープロジェクト

(1) 各地における特色ある文化芸術活動の推進

特色ある文化芸術活動の促進と活発な活動が行われる環境の整備、文化芸術活動を担う人材育成

(2) 各地におけるスポーツに関する特色ある活動の推進

市町村との連携による各地域の特徴を生かした特色あるスポーツ拠点形成に向けた取組の推進